

1 教室環境チェック (改善されていると思う項目に○)

担任 (小林 幹明)



教室環境改善

1 基本的な清掃と整理整頓がされているか?	○
2 安全への配慮がされているか?	○
3 感覚刺激への配慮がされスッキリしているか?	○
4 学級や授業で大切にしていることが見て分かるか?	△
5 生活や学習の見通しや動線が見て分かるか?	○
6 必要な学習の成果や掲示が適宜されているか?	○
7 掲示の場所や方法にルールはあるか?	○

2 学級の実態 ※写真添付

- ・ 身辺処理はほぼ自立している。
- ・ 書字、読字ができる生徒とできない生徒がいる。
- ・ 3名とも言葉でのコミュニケーションができるが、言葉が不明瞭であり、意味が理解できていない場合がある。



3 特に工夫している部分

- ・ 月ごとの予定が分かるようイラストを用いたカレンダーを生徒が作成し掲示している。イラストを用いることで活動や行事を生徒が目しやすく、イメージしやすい。

4 改善の経緯

(1) これまでの教室環境とその頃の児童生徒の様子

- ・ 以前は学習活動ごとに、たくさんの写真を掲示していたことで教室内の掲示が煩雑に見えた。

(2) 12月現在の教室環境とその頃の児童生徒の様子

- ・ 掲示する量を減らし、様式を整えたことで煩雑さが少なくなった。
- ・ 週に1回振り返りの学習を行うようにすることで、学習の流れができ、見通しをもって取り組むようになった。
- ・ 活動の感想について、今まで学習した言葉で自分の感想を伝えるようになってきた。

改善のポイント!!

- ・ 掲示する内容を精選するようにした。
- ・ 振り返りの学習で使用する用紙(感想文)に、写真を貼り付けるようにし、写真の精選しながら、文章での活動の振り返りを行うようにした。
- ・ 文章と合わせることで、保護者も活動の様子や感想を知ることができる。

今後の改善などについて

- ・ 活動の写真をある程度精選して提示しているが、文字の判読が難しい生徒には、さらに写真を活用する必要がある。細かな活動場面をイメージして感情の表現を引き出せるようにしていくためには、生徒が写真をじっくりと見る時間の確保も必要と考える。活動の写真を日頃から目にするすることで、思い出したり考えたりすることができる掲示の方法を検討していく必要がある。